



revvity

# 免疫研究の可能性を広げる、 T-SPOT.Flex

T-SPOT™.Flex は、長年にわたり使用されてきたELISPOT法を基盤とし、すぐに使用できる構成品を組み合わせたインターフェロン- $\gamma$  (IFN- $\gamma$ ) ELISPOTキットです。本キットは、カスタマイズ可能な免疫モニタリングのプラットフォームとして、作業時間の短縮と結果の質の向上を両立します。T-SPOT.Flex には特異抗原は含まれていないため、研究目的に応じて任意の抗原を選択し、T細胞応答を測定することができます。

## T-SPOT.Flex を選ぶ理由

- ・ **確立された基盤**：Revvity が20年以上にわたり培ってきたT細胞研究の知見と500 報以上の査読付き論文に裏付けられています。
- ・ **柔軟な応用性**：多様な研究領域に適応できるプラットフォームとして、研究目的に応じて標的を自由に設定できます。
- ・ **安定したデータ取得に貢献**：すぐに使用できる試薬により、前処理に要する丸一日の作業時間を削減し、バックグラウンドを抑えた結果取得をサポートします。

## T-SPOT.Flex でできること

- ・ 研究目的に合わせて、抗原を自由に組み合わせたアッセイ設計が可能
- ・ 多様な研究領域における免疫応答データの取得をサポート
- ・ すぐに使用できる試薬で、長年培われたT細胞処理技術の利点を活用
- ・ 自動化との親和性やサンプル安定性の向上により、効率的なワークフローを維持

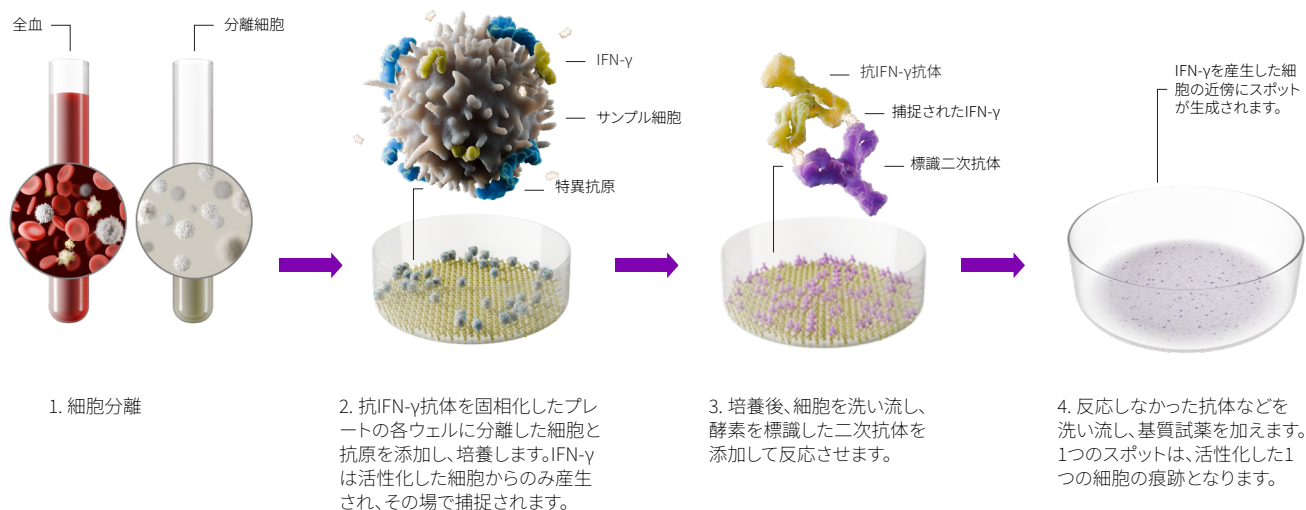


## T-SPOT テクノロジーについて

T細胞は獲得免疫系の中核を担い、ほぼすべての免疫応答を調整する重要な役割を果たしています。ELISPOT法を原理としたT-SPOTテクノロジーにより、特定の病原体に対するT細胞応答を可視化し、免疫応答の評価に活用できます。

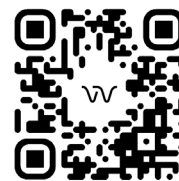
T-SPOT.Flexは、このT-SPOTテクノロジーを基盤とし、病原体特異的なT細胞免疫応答の検出およびモニタリングを可能にします。

### ワークフロー



\*プレートのコーティングや陽性コントロール、陰性コントロールの調製は不要です。

<sup>1)</sup> WHO operational handbook on tuberculosis. Module 3: diagnosis. Geneva: World Health Organization; 2025. Licence: CC BY-NC-SA 3.0 IGO.



Learn more

revvity